

# 令和6年第2回 (2月)

## 定例教育委員会会議録

令和6年2月22日

荒尾市教育委員会



令和6年2月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和6年2月22日（木）9時00分

2. 場 所 荒尾市役所43号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	渡邊 義専
委員	深浦 淳美
委員	谷本 ひとみ
委員	落合 克哉

4. 出席事務局職員

学校教育課長 兼教育審議員	大塚 真史	教育振興課長	満永 一
生涯学習課長	原口 富美	課長補佐兼学 務係長	畑山 鉄也
課長補佐兼学校給食 センター係長	永吉 万寿美	課長補佐兼社 会教育係長	馬場 理恵子
指導主事	池田 祐樹	指導主事	米村 光生
スポーツ推進 係長	佐々 幸太郎	少年指導セン ター所長	前田 偉知雄
教育政策係長	田中 彰		

5. 傍聴者 無し

- 教育長
- 開会宣言 令和6年2月22日(木)9時00分
  - 会議成立の確認(過半数出席)
  - 議題、会議の日程等の承認
  - 会議録署名委員の指名(深浦委員)

1. 前回会議録の承認(署名: 渡邊委員)

2. 議案及び審議結果

【非公開案件(議第3号)について】 **採決により非公開**

○提案概要

議第3号 議会の議決を経るべき教育関係議案に関する意見について(教育振興課)について、地方行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規程に基づき非公開とするもの。

○意見

各委員 特になし

○採決 全員同意

【議第1号 令和5年度荒尾市の教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する令和4年度事業点検評価報告書について(教育振興課)】 **原案可決**

○議案概要

「荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱」に基づき、事務点検評価委員会を開催し、結果を報告書として作成するもの。

○事務局説明(教育振興課長)

○質疑

教育委員	小学校・中学校施設長寿命化改修事業費について、荒尾海陽中学校では、トイレのつまりやにおいの問題があると把握していたが、本事業の取組で解消されたのか。
事務局	改修事業については、問題の発生個所にその都度対処しているが、根本的な解消はなかなか難しい。トイレ改修については令和6年度以降取り組みを強化する予定。
教育委員	小学校・中学校 ICT 環境整備事業費について、修繕費が181万円程支出されており、主に教育用タブレットの破損修繕費と推察するが、他にどのような修繕対応を行ったのか。また、タブレット破損修繕の割合はどれくらいか。

事務局	<p>本修繕費の支出内容について主要なものは、委員お見込みのとおり、タブレット破損修繕であり、主に画面割れの修繕対応を行っている。その他は電子黒板用の PC や校務用 PC の故障修繕である。タブレット修繕費の割合については、詳細資料を確認し追って報告する。</p> <p>《詳細資料確認後の報告内容》</p> <p>令和 4 年度のタブレット修繕費は約 140 万円で支出総額の約 77% である。修繕件数は小学校 26 件、中学校 24 件で計 50 件である。</p>
教育委員	<p>語学指導外国青年招致事業費について、現在各中学校に 1 名の ALT が配置されているとの事だが、残り 2 名で小学校を担当しているという事か。</p>
事務局	<p>四中勤務の ALT は小学校を兼務しており、残り 2 名と合わせて小学校 10 校を担当している。</p>
教育委員	<p>重点課題に英語力向上が挙げられているが、中学校と同様に小学校においても各校に 1 名配置されれば、日常的に言葉を交わすことができ、英語力は培われるのではないかと考える。予算的な面もあると思うが、外国の先生方の受入が更に進むと良いと感じた。</p>
教育委員	<p>学校給食費無償化事業費について、7 名の方が個人申請という事だが、どのような理由で個人申請となっているか。</p>
事務局	<p>荒尾市在住で市内の小中学校に通う児童については、学校を通じて手続きを受け付けているが、荒尾市在住で市外の小学校に通学する児童についても補助の対象としており、このような場合は保護者に個人で申請いただき、補助を行っている。令和 4 年度は 7 名の実績があった。</p>
教育委員	<p>学校給食費無償化事業費に関連して、新任のためお尋ねするが、中学校が無償化の対象となっていない背景等を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>小学校における学校給食費の無償化については、現市長の選挙公約であり、実現に至ったところ。中学校における学校給食費の無償化については、本市の財政事情だけではなく国の状況も踏まえた判断が必要であり、実現には至っていない。なお、現在、国における「異次元の少子化対策」においても全国規模での学校給食費無償化について議論がなされていることから、今後もそれらの動向を注視していきたい。</p>
教育長	<p>給食費無償化については、国による実態調査の結果が令和 6 年度を目途に報告されると把握している。</p>
教育委員	<p>小岱教室事業費、中学校フリースクール事業費といった不登校対策事業について、現状でどれくらいの児童生徒が不登校となっているのか。</p>
事務局	<p>現在、中学校 3 校に設置しているハートフルルームにおいて計 40 名前後の児童生徒が利用している。不登校児童生徒数については、令和 5 年度においては、中学生が微増、小学生は微減の状況であり、合計すると前年度並みの 50 名程度である。児童生徒の目から見ると、起立性調節障害など不登校とは言えない者も「学校に来ていない」と映ってしまうため、児童生徒側は実際の人数よりも多い印象を持っているのかもしれない。</p>
教育委員	<p>子ども未来基金を活用した事業について、今回の報告においては英語教育充</p>

	<p>実事業費と子ども未来文庫整備事業費においては財源として活用されているが、その他の活用実績はあるか。</p>
事務局	<p>教育委員会所管の事業としては本報告に挙げている事業が対象となっているが、全庁的に子育てや教育に関する事業に活用を行っている。</p>
教育委員	<p>子ども未来基金を活用している割合は教育委員会の事業が大きいのか。</p>
事務局	<p>子ども未来基金を活用した事業の全体像や教育委員会事業の占める割合については所管課（総合政策課）に確認が必要であり、把握はしていない。</p>
事務局	<p>他課での一例を紹介すると、子育て支援課においては市内の幼稚園・保育所・認定こども園に基金を活用して絵本を配備する事業を令和5年度に実施している。</p>
事務局	<p>加えて、先日教育フォーラムでも成果発表があったが、令和5年度に実施した魅力ある修学旅行サポート事業については子ども未来基金の活用を行っている。</p>
教育委員	<p>夏休み子ども学び塾事業費について、令和4年度は23名の参加者であったとの事だが、令和5年度の参加状況はいかがか。</p>
事務局	<p>令和5年度の参加者は5名と把握している。事業の実施時期がお盆休みと重なってしまったことが参加の少なかった要因ではないかと考えている。</p>
教育委員	<p>実施時期はなぜお盆休みの時期だったのだろうか。令和4年度に自身の子が事業に参加した際に、非常に中身の濃い充実した事業であると感じ、令和5年度も参加を希望していたのだが、実施時期の関係で断念せざるを得なかった。本事業は、低予算で非常に高い効果を出せる事業であると感じており、令和6年度以降は実施時期を再考し、参加者が増えることを期待する。</p>
事務局	<p>令和5年度における事業の実施時期については、他事業等との兼ね合いからその時期にせざるを得ないという事情があったが、令和6年度については7月の開催を検討しているところ。実施時期が遅くなると夏休みの宿題を終わらせてしまっている児童が多いという課題もあった。</p>
教育委員	<p>7月の場合、夏休みが始まってサマースクール等の学校行事が集中するという点も考慮にいられていただくとよいと思う。</p>
教育委員	<p>事業の総合評価について、図書館管理費や夏休み子ども学び塾など、非常に良い取組だと思うが、総合評価がBなのはなぜか。</p>
事務局	<p>総合評価について、Aは「拡充」、Bは「継続」であり、現在の事業を今後も継続的に実施するという意味でBとしている。</p>
渡邊委員	<p>いずれも素晴らし事業のため今後も是非継続していただきたい。</p> <p>また、先日、有明高専の留学生との交流会に参加したのだが、その際、校長先生が小学校等にも交流の機会が広がれば良いという事を言われていた。モンゴルやケニアから留学されているが、日本語が非常に堪能であった。市立図書館において勉強を教える機会を作る等、何らかの取組が行われると良いなと感じた。</p>
事務局	<p>いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきたい。</p>
教育委員	<p>英語教育充実事業費について、英検の希望級の受験ができることや、教員の</p>

事務局	<p>スキルアップを図ることで英語教育を推進するというとても良い事業であると感じている。また、先ほど質問した語学指導外国語青年招致事業費にも関連するが、英語力を高めてグローバルな人材育成を行いたいという目的にも共感するところである。それらの効果を英検の試験結果において確認していくという事かと推察するが、試験を受けられるから安易に受けるという事になると事業の趣旨と異なってしまうため、事業の目的や教育委員会の思いなどを受験する生徒達にもしっかりと伝えていくことで、より充実した事業になるのではないかと考える。</p> <p>英検の希望級を受験することは、生徒が達成感を得たり、自己肯定感を高めたりすることに繋がっていると考えており、そういった意味でも全ての生徒が希望級の受験ができるという環境は有効なものと考えている。いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきたい。</p>
-----	--

【議第2号 第2期荒尾市教育振興基本計画令和4年度数値目標報告書について（教育振興課）】 **原案可決**

○議案概要

第2期荒尾市教育振興基本計画に基づき、「荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価」により本計画に基づき実施する事業の点検・評価を実施し、結果を報告書として作成するもの。

○事務局説明（教育振興課長）

○質疑

教育委員	<p>基本的施策1-3「豊かな心・健やかな体の育成」の数値目標にある「毎日、朝食を食べる児童生徒の割合」の中学校における現状値（令和3年度）について、94.0%で全国平均（92.8%）を「下回る」と記載されているが、「上回る」の誤りではないか。</p>
教育長	<p>数値を改めて確認し、必要に応じて修正等を行うこと。</p>
教育委員	<p>基本的施策2-3「学びと育ちの支援」の数値目標にある「就学援助制度の認知度」の現状値、実績値ともに数値が記載されていないのはなぜか。</p>
事務局	<p>第2期計画を策定した際に新たに設定した評価項目だが、これまで定期的なアンケート調査等は実施しておらず、令和4年度においては検討段階で終了し、現在も実施に至っていない。保護者や学校に負担が少ない形式で可能な限り早期に実施できるよう調整を図りたい。</p>
教育委員	<p>評価の測定方法として挙げられている「まちづくりアンケート」とはどのような方法で実施されているのか。</p>
事務局	<p>総合政策課が所管課であり、総合計画の取組を検証するために市民対象に年1回毎年実施されているものである。教育委員会の事務点検評価においては、教育分野の質問項目を効果測定のための指標としている。</p>

事務局	対象者は無作為抽出された市民 2,000 人程度であったと思う。
事務局	令和 4 年度より市の公式 LINE による調査を加え、郵送は 1,000 件に変更となっているようだ。18 歳以上 90 歳以下の市民を対象として、令和 4 年度は 9 月～10 月の期間で実施されている。
教育委員	基本的施策 2-1「多様なニーズに対応した教育の推進」における数値目標である『「特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った』と評価する学校の割合」が小・中学校共に 100%となっており評価できることかと思うが、反面、基本的施策 1-5「幼児教育・義務教育から高校教育までを見据えた教育環境の魅力向上」における「荒尾市で子育てをしたいと思わない理由として「子どもの教育環境が充分でないから」を挙げる人の割合が 33.3%となっている。本市では、近年様々な教育に関する施策が展開されており、教育環境は充実してきていると感じているところだが、まちづくりアンケートにおいてどのような理由で教育環境が充分でないと感じて回答されているのかについても把握する必要があると考える。
教育委員	基本的施策 3-2「生涯スポーツの振興及び生涯学習活動施設の整備充実」における「スポーツに関する環境の満足度」及び「運動習慣がある人の割合」についてもまちづくりアンケートの結果を参照することとなっているが、スポーツ環境への満足度は実際にスポーツをしている方でないと答えづらい項目だと考える。同様に、教育環境に関する質問についても、子育て世代等、実際の当事者ではないと施策の効果を実感できない部分はあると思われる。
事務局	まちづくりアンケートに回答いただいている年齢層を見ると、37.9%が 70 歳以上、21.6%が 60 代、12.5%が 50 代となっており、約 7 割が 50 歳以上となっている。委員のご意見にあったように、子育てという面においては、既に子育て期を卒業された方の割合が高い状況のようだ。調査の対象は幅広い年齢層となっているが、結果として回答者の年齢層が高くなってしまいう部分はある。
教育委員	当事者の意見がより反映されるよう、効果測定の方法については、必要に応じた変更も視野に入れておくとよいと思う。
教育委員	基本的施策 3-1「人生 100 年時代を見据えた生涯学習社会の実現」における数値目標「中央公民館の来館者数」について、現状値（令和 3 年度）から令和 4 年度の実績値が増加している理由はなぜか。
事務局	令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により休館時期も多かったが、令和 4 年度からは徐々に活動が再開し、来館者が伸びたためである。
教育委員	基本的施策 1-1「確かな学力の育成」における「全国学力・学習状況調査正答率」について、目標とされている全国平均と本市の実績値が、大きいところでは 10%程度開きがあるが、この差は大きいという認識か。 また、先日、熊本県市町村教育委員会大会に参加した際、県教育長の講話において本市の小岱教室と中学校フリースクールの取り組みが大きく紹介されていた。非常に喜ばしい内容だったため報告する。
事務局	学力向上については課題も多く、全国平均と比較すると上回るのはなかなか



教育長 事務局	<p>厳しい状況。先日、令和5年度の県の学力・学習状況調査の結果が出たが、経年比較すると徐々にではあるが学力は向上してきている。</p> <p>全国平均との比較で10%という差はやはり大きいという認識か。</p> <p>大きいと感じている。本事務点検評価の実績値測定においては、抽出学年で結果を見ているため、同じ児童生徒の結果を追っていくものではなく、実施年によって結果が異なる状況もある。同じ学年の結果を経年で確認すると、先ほど指導主事も述べたように向上が見られる部分もあるため、今後も学力向上のための取組に努めていきたい。</p>
教育委員	<p>学力・学習状況調査の結果については、支援学級や不登校の児童生徒の結果は含まれているのか。</p>
事務局	<p>全国学力・学習状況調査は小学校6年生、中学校3年生が対象、県の学力・学習状況調査は小学校3年生以上が対象となっている。結果集計において文字を書くことができない等特殊な事情を有する児童生徒を集計の対象から外すことは想定されるが、学校判断による。</p>

【議第3号 議会の議決を経るべき教育関係議案に関する意見について（教育振興課）】

**非公開案件**

○議案概要等

<p>非公開案件のため公開していません。</p>
--------------------------

【その他(1) 令和5年度荒尾市一般会計補正予算(第11号)及び令和6年度荒尾市一般会計予算について】

○事務局説明

○質問

教育委員 事務局	<p>小学校フリースクール事業について、実施校は決定しているか。</p> <p>現在選定中である。拠点校として地理的状況や空き教室の状況等を勘案する必要があり、それらを踏まえて選定を行っている。</p>
教育委員	<p>図書館事業費の説明の中で図書館閲覧コーナーへの椅子・机の増設とあったが、どのような内容か。</p>
事務局	<p>各書棚を配置しているスペースや、みんなのひろばなどの閲覧場所については、コロナ対応で間隔に余裕を持った配置としていたため、より多くの来館者が利用できるよう机や椅子を増やすものである。</p>
教育委員	<p>本市出身者がオリンピックに出場した場合のパブリックビューイングだが、実施場所はどこを想定しているか。</p>
事務局	<p>荒尾総合文化センターの小ホールや会議室である。</p>

【その他（2） 3月行事予定について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし。
-----	-------

【その他（3） 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

教育審議員	次回の令和6年第3回定例教育委員会は3月28日（木）10時00分から開催したいと思うがいかがか。
-------	--

各委員	異議なし。
-----	-------

教育長	それでは、次回の令和6年第3回定例教育委員会は3月28日（木）10時00分から開催する。
-----	--

教育長 ○閉会宣言 令和6年2月22日（木） 10時28分